

第71回運輸政策セミナー オンライン開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「運輸政策セミナー」をオンラインにて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

○第71回運輸政策セミナー（オンライン配信）

日 時：2021年5月14日（金）15：00～17：30

会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）

テ ー マ：公共交通における自動運転—社会実装のための課題と期待

1. 講演

テーマ① 自動運転をめぐる法制度の最新の動向

講 師：佐藤 典仁 森・濱田松本法律事務所 パートナー弁護士

テーマ② 公共交通における自動運転の実証実験の事例と課題

講 師：小木津 武樹 群馬大学 准教授／

群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長

2. コメント

コメンター：鎌田 実 一般財団法人日本自動車研究所・代表理事・研究所長

3. パネルディスカッションおよび質疑応答

コーディネーター：山内弘隆 運輸総合研究所所長

パネリスト：講演者およびコメンター

概 要： 昨今、自動運転の実用化に向けて、バス等の公共交通においても実証実験が各地で実施されています。公共交通における自動運転は、過疎地域の交通確保やドライバー不足の解消などが期待されています。今回のセミナーでは、自動運転を巡る法務現状等について確認した上で、公共交通機関における自動運転の実証実験の状況等を概観し、社会実装のための課題と期待される効果について考えます。

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/semi71>

（申込期限：5月12日（水）まで）



※お申し込み頂いた方には、5月13日（木）午後に視聴用 URL をご送付いたします。

● 講演：自動運転をめぐる法制度の最新の動向

講師：佐藤 典仁 森・濱田松本法律事務所 パートナー弁護士

(概要)

2019年に道路運送車両法と道路交通法が改正され、世界に先駆けてレベル3の自動運転車(条件付自動運転車(限定領域))の公道走行が可能になり、2021年3月に本田技研工業からレベル3の自動運転車が発売された。

かかる自動運転に関する法制度の現状を、レベル4(自動運転車(限定領域))の実現に向けた、警察庁における道路交通法改正に向けた検討状況も紹介しつつ、概説する。

(経歴)

2007年 東京大学法学部卒業

2008年 森・濱田松本法律事務所入所

2013年 Northwestern University School of Law (LL.M.),
Kellogg School of Management (Certificate in Business Administration) 修了

2013年 Hengeler Mueller 法律事務所デュッセルドルフオフィスで執務(～2014年)

2014年 株式会社日立製作所に出向(～2015年)

2017年 国土交通省 自動車局 保障制度参事官室に出向(企画調整官)(～2019年)

2019年 NEDO 採択審査委員会委員(規制の精緻化に向けたデジタル技術の開発/モビリティ分野)
国交省自動車局で「自動運転における損害賠償責任に関する研究会」の取りまとめ、自動運転に係る道路運送車両法改正を担当するとともに、不適切完成検査問題、MaaSへの取組等にも関与した経験を踏まえた、自動車、モビリティサービス全般についての、当局対応を含めた、専門的かつ的確な助言を行う。

また、タクシー配車アプリ会社の事業統合、大手自動車部品メーカーの統合など自動車、モビリティサービスのM&Aの圧倒的な経験・知識を有する。

「自動運転・MaaSビジネスの法務」(共編著、中央経済社、2020年)など自動運転、モビリティサービス関連の書籍・論文等多数。 WEB: <http://www.mhmjapan.com/ja/people/staff/738.html>



● 講演：公共交通における自動運転の実証実験の事例と課題

講師：小木津 武樹 群馬大学 准教授／

群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長

(概要)

10年以上自動運転の研究開発に携わってきたアカデミア研究者が、自身の知見を軸とした独立的な立場で、自動運転の研究事例に基づき、自動運転が持つ可能性について解説しながら、当該分野を取り巻く現状と課題、今後の技術的方向性について論じる。

(経歴)

1985年8月7日生まれ。慶應義塾大学環境情報学部に入學後、同大学大学院政策・メディア研究科にて修士課程、後期博士課程を修了。博士(学術)。

2014年4月から2016年1月まで東京理科大学理工学部機械工学科助教。同年2月から2017年7月まで群馬大学大学院理工学府助教。2016年12月から群馬大学次世代モビリティ社会実装研究センター副センター長、2017年8月から同大学院理工学府准教授。大学時代から一貫して自動車の自動運転に関する研究活動を推進。自動運転の実証実験や実車デモの経験が多数ある。



●コメント

コメンテーター：鎌田 実 一般財団法人日本自動車研究所・代表理事・研究所長

(経歴)

1982年 東京大学工学部機械工学科卒業
1987年 東京大学大学院工学系研究科博士課程修了
1987年 日本海事協会 技術研究所 研究員
1990年 東京大学工学部船用機械工学科 講師
1991年 同 助教授
2002年 東京大学大学院工学系研究科産業機械工学専攻 教授
2009年 東京大学高齢社会総合研究機構 機構長・教授
2013年 東京大学大学院新領域創成科学研究科人間環境学専攻教授
2020年 日本自動車研究所 代表理事・研究所長

専門は、車両工学，人間工学，交通システム，ジェロントロジー。

国交省，経産省，警察庁，内閣官房などの会議体の委員等多数，2015年 交通文化賞受賞。



運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。 Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

お問合せ：一般財団法人運輸総合研究所 企画部（担当：新倉）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19（UD 神谷町ビル）

TEL：03-5470-8415 FAX：03-5470-8419

E-mail：collo@jttri.or.jp

HP：<https://www.jttri.or.jp/>